

[ 資料 1 ]

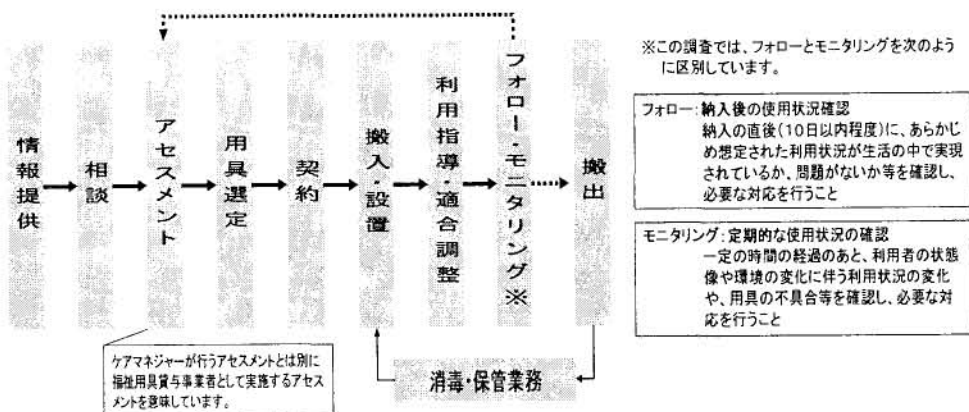
介護保険における福祉用具サービスの利用実態  
及び有効性に関する調査結果概要

# 1. 福祉用具種類別のサービス提供の実態把握

## (1) 種類別のサービス提供の実態把握(事例調査)

(報告書P.4)

- ① 調査対象 : 福祉用具貸与事業者 4社
- ② 調査内容 : 下記各サービスプロセスにおける具体的な作業内容の実態把握



③ 調査期間 : 平成21年12月～平成22年2月(3ヶ月間)

### ④ 調査結果の概要

- 4事業者と限られた範囲ではあるが、「アセスメント」、「搬入／設置」、「利用指導／適合調整」、「フォロー」、「モニタリング」において貸与事業所が利用者宅を訪問して実施している作業内容、利用者・家族及び介護支援専門員とのやり取りを把握することができた。

2

## (2) 福祉用具種類別のサービス提供の実態把握(全国調査)

(報告書P.13)

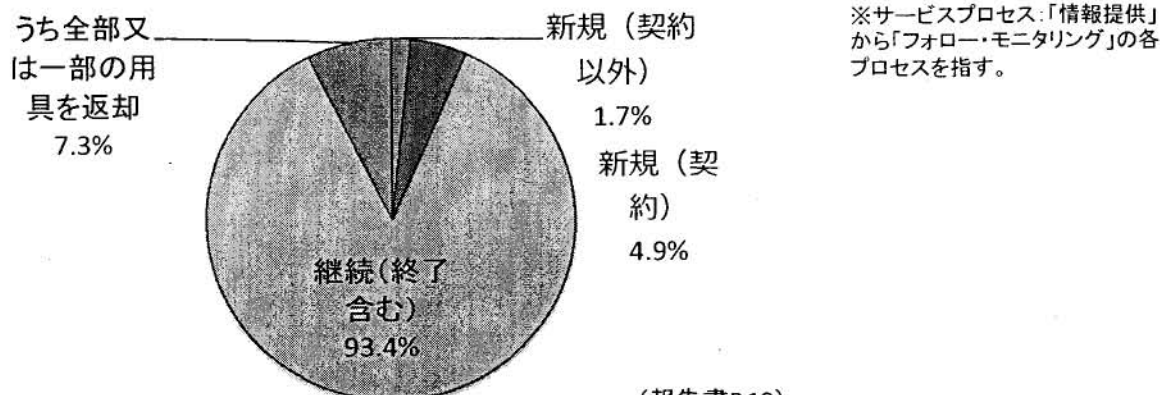
① 有効回答数 : 3,001事業所(無作為抽出)

- ② 調査内容 :
  - ・福祉用具サービスの実施状況
  - ・福祉用具の利用を終了した理由、利用期間
  - ・福祉用具種類別のメンテナンス実施状況等

③ 調査期間 : 平成21年10月

### ④ 調査結果の概要

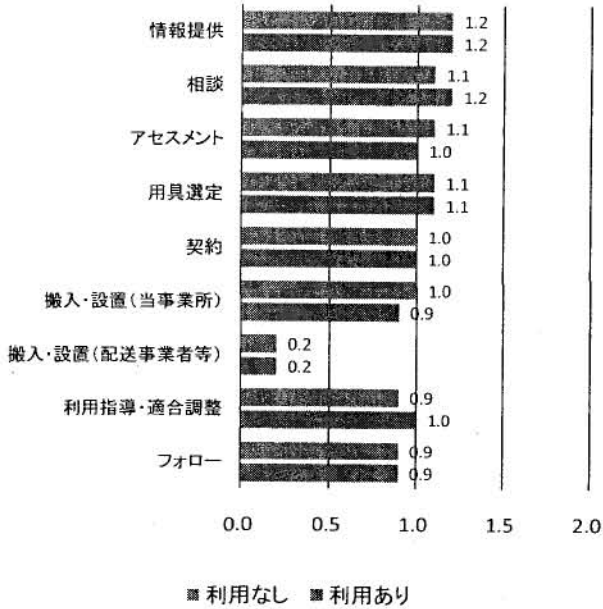
- 貸与事業所における利用者の構成は、約9割が継続の利用者である。
- 一方で、事業所が行う各「サービスプロセス」の実施状況(実施回数ベース)を見ると、その多くが新規利用者を対象として行われている。



3

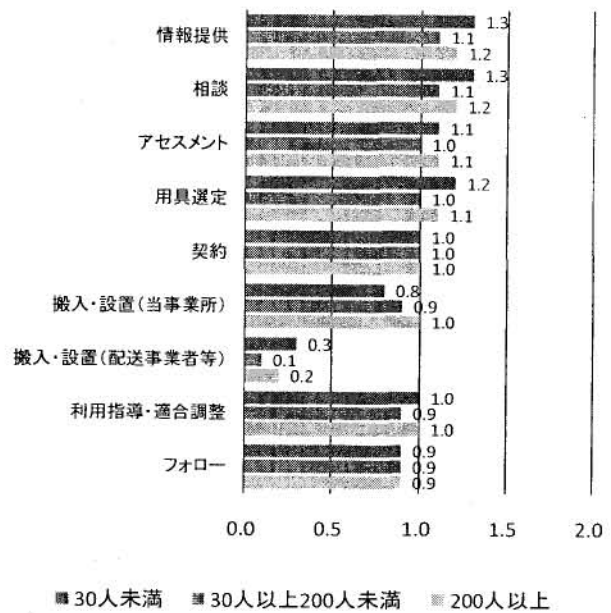
➤ 福祉用具の導入に際してのサービスの実施状況について、「情報提供」～「フォロー」までのすべてのプロセスが利用者1人に対して平均1回以上提供されており、貸与事業の属性別(レンタル卸の利用の有無別、サービス利用者数規模別)による大きな差は見られなかった。

① レンタル卸利用有無別



(報告書P.27)

② 利用者数規模別

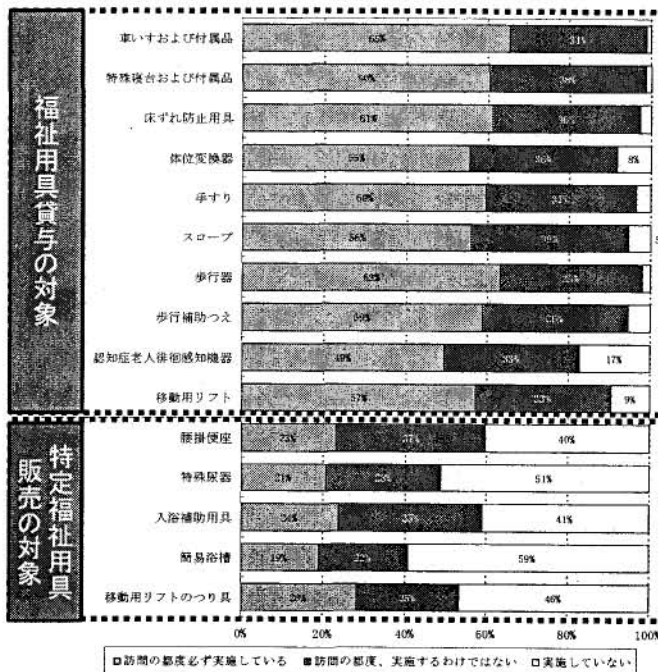


(報告書P.29)

➤ 導入後のメンテナンスの実施頻度は、貸与・販売により傾向が分かれるが、貸与品目内・販売品目内では同一の傾向であった。  
 貸与の品目ではほぼ全ての事業所で概ね6ヶ月に1回以上実施されているのに対して、販売の品目では半数程度の事業所で年1回以上の頻度で実施されている。

① メンテナンス実施状況

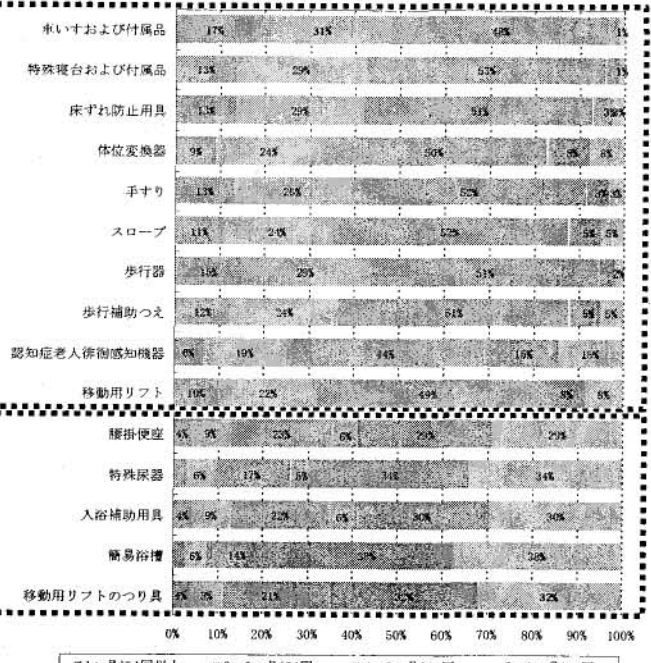
福祉用具種類別のメンテナンス実施状況



(報告書P.40)

② メンテナンス実施頻度

福祉用具種類別のメンテナンス実施頻度



(報告書P.41)